

# 県道小林館の川線が再開通



▲再開通を祝いテープカットをする関係者

平成25年5月に土砂崩れが発生し、一部通行止めとなっていた県道小林館の川線が10月1日に再開通し、再開通式典が同日現地で行われました。式典は亀岡区、県道小林・館ノ川線改良促進期成同盟会の主催で行われ、目黒町長や南会津建設事務所長など関係者が出席し再開通を祝いました。

同県道は、地域の方の生活道路として使われていますが、道幅も狭く冬期間は通行止めとなります。この県道が通年通行できる道路に改良されれば、災害時などには国道289号の代替道路にもなりますので、今後は通年通行できる道路改良工事が行われることが望まれています。



▲関係者で同県道を歩き工事箇所などを確認しました



▲田子倉無料休憩所内の休憩スペースは広く、今まで以上に利用しやすくなっています



▲テープカットは田子倉無料休憩所前で行われました

# 田子倉無料休憩所・レイクビュー リニューアルオープン！

田子倉無料休憩所と田子倉レイクビューの改修工事が終わり、10月4日にリニューアルオープンセレモニーを行い、関係者などで今後二層の観光振興に期待を込めました。

田子倉無料休憩所は、浅草岳登山時のトイレや休憩所として利用していたが従来設備に加え、観光情報スペースが設置され、田子倉レイクビューは、外装工事が行われ見らしい茶色を基調としたデザインとなり、どちらも只見町を代表する観光・交流拠点施設となりました。



▲外装工事が行われた田子倉レイクビュー



【南会津消防本部・只見出張所】  
救急車が新しくなりました

南会津消防本部・只見出張所で運用していた高規格救急車の老朽化に伴い、最新の救命用資機材を備えた新しい高規格救急車が10月2日に配備されました。これにより、これまで以上に迅速かつ安全に救命救急措置を行うことができるようになります。この車両はエリアの広い只見町で非常に重要な役割を果たすことが期待されます。

只見出張所では、昨年1年間で253件救急車が出勤しています。

◀車内には最新の機材が配置してあります



▶配備された救急車



【只見線応援チャリティショー】  
135,188円を町に寄付

9月27日、埼玉県の草加市中央公民館で第3回頑張ろう東日本！只見線応援チャリティショーが行われました。これは夢広場（只見町大倉）の主催で、一般の方やプロ歌手による歌の披露の他、会場では只見の水害状況の写真展示や観光PRなどもさせていただきました。会場には、福島県内や只見町出身者の方にも多くお越し頂き、来場者の皆さんからの寄付やショーの売上などを町に寄付していただきました。

◀会場には200名近い来場者が訪れました



後日、役場まで夢広場の角田初美さんが寄付を届けてくださいました▶



【只見の魅力を広く発信】  
只見町ふるさと大使を委嘱

10月9日、役場でふるさと大使懇談会を開催し、今年で3年間の任期を終えた7名の大使に感謝状を贈呈し、新たにふるさと大使として活躍していただく左記名簿の11名の方を委嘱しました。都合がつかず残念ながら皆さんに出席していただくことはできませんでしたが、懇談会では大使同士の情報交換などが図られました。

また、これまで只見町のふるさと大使として活躍していただいた皆さんには、今後は「只見ふるさと応援団」として引き続き町のPR活動などを行っていただきます。



▲前列が前大使、後列が新大使の皆さんです

新只見町ふるさと大使の皆さん（順不同）

たんどろ 丹藤	こういち 耕一さん	(千葉県)	おおたき 大滝	かつみ 克美さん	(埼玉県)
やまもと 山本	えもん 英門さん	(東京都)	なかの 中野	まさし 真志さん	(東京都)
いわいさき 祝前	のぶみつ 伸光さん	(神奈川県)	おだぎり 小田切	しゅういち 修一さん	(東京都)
こんだ 今田	さわこ 佐和子さん	(千葉県)	おがわ 小川	こういちろう 浩一郎さん	(福岡県)
じょうじゅう 上重	かつひこ 勝彦さん	(神奈川県)	あさの 朝野	けい 景さん	(福岡県)
おさだ 長田	けいいち 圭一さん	(東京都)			



# 36チーム 296名のランナーが町内を激走!

# 第53回 只見町駅伝競走大会



▲一斉にスタートする選手

10月18日、第53回只見町駅伝競走大会が行われ、今年も昨年よりも10チーム多い36チームが町内外から参加し、日頃の健脚を競いました。  
大会の成績は次のとおりです。

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| <b>中学男子の部</b> | 1位 若松四中         |
|               | 2位 只見中駅伝部       |
|               | 3位 南会津中         |
| <b>中学女子の部</b> | 1位 只見中駅伝部       |
|               | 2位 若松四中         |
|               | 3位 南会津中         |
| <b>一般女子の部</b> | 1位 南会津高バレー部     |
|               | 2位 南郷レディース      |
|               | 3位 うるわし☆レディース   |
| <b>男女混合の部</b> | 1位 下郷町チーム       |
|               | 2位 只見高校         |
|               | 3位 南会津高スキー部と陸上部 |
| <b>一般男子の部</b> | 1位 会津中央病院A      |
|               | 2位 南会津高スキー部と陸上部 |
|               | 3位 JAあいつA       |



▲第1回大会から出場している明和青年団チームは今年も出場記録を伸ばしました



▲タスキが繋がった瞬間!



▲沿道からの声援で選手も頑張れました



## 海外(韓国・台湾)交流・貢献事業で講習会を開催

「韓国 新安多島海生物圏保存地域  
の自然と文化」(9月10日)

只見振興センターで、洪善基氏  
(木浦大学校島文化研究院教授)を招

き、韓国にある新安多島海ユネスコエコパークについてお話いただきました。

新安多島海ユネスコエコパークは、海と多くの島で構成される地域で、海から陸までの連続した生態系が存在することが特徴で、さらに地域社会では独特の島文化が発達しており、海からの豊富な海産物と伝統的な塩作りなどを活用した産業や体験プログラムによる観光業の発展が行われています。また、自然環境を守るための基礎調査が専門家だけでなく、地元住民の指導のもと実施されています。

「台湾原住民の伝統的な

天然資源の利用」(10月18日)

朝日振興センターで、汪大雄氏

(台湾林業試験所)を招き、只見町同様天然資源を利用した伝統的な生活を受け継ぐ、台湾原住民についてお話いただきました。台湾は九州とほぼ同じ大きさの島ですが、標高3千mを

超える山が多数あります。台湾原住民は、平野部に住む平埔族と山岳部に住む高砂族に大別され、高砂族のひとつであるアタルヤ族は、竹の利用が特徴的で、食料、家の材とするほか、収入源として利用しています。ヤミ族は、台湾原住民唯一の海洋民族で、トビウオを利用する文化とカヌーを家族で作る技術を持っています。その他の部族についても、食物、住居、衣料、楽器、狩猟、漁、葉、燃料などへ天然資源が利用されています。

▼汪大雄氏による  
講演会(10月18日)



▲洪善基氏による  
講演会(9月10日)

## ブナセンター講座と自然観察会を開催!

崎尾均氏(新潟大学教授)に只見町の代表的な植生の一つである水辺林とそこに侵入したニセアカシアについて解説していただきました。

10月24日(土)講座

「ニセアカシアの生態と管理 外来種の脅威」

北米原産のマメ科植物ニセアカシアは、治山・砂防の緑化のために日本に導入されるとともに、ハチミツの蜜源として利用されています。一方で旺盛な種子生産力と根から出す根萌芽で繁殖、在来種の生育域に侵入し、生態系への影響が懸念されています。ニセアカシアの生態とその管理方法(除去施業など)、そして伊南川への侵入状況についても解説していただきました。

10月25日(日)観察会

「伊南川の河畔林を観察しよう!」

伊南川の河畔林とそこへのニセアカシアの侵入状況を観察しました。上流部で崩壊した山腹の



▲ヤナギ林が流木を捕捉している様子を観察しました

緑化のためにニセアカシアが導入されていて、そこから種子が流下し、下流の河畔林に侵入していました。その他にも、人為的に植栽されたり、種子を含んだ土砂が運ばれた場所で成長したり、伊南川沿いに分布する状況が観察できました。また、豪雨の影響を受けた河畔林(ヤナギ林)では、その前後で地形が大きく変わった一方で、こうした攪乱が河畔林の更新には重要であるとの説明がありました。また、ヤナギ林が上流からの流木を捕捉している様子も観察できました。観察会を通してダイナミックに変わりゆく河畔林の生態とニセアカシアの侵入の現状を学ぶことができました。